

診察時の聴診について

聴診器を直接肌の上にあてるか、服の上にあてるかで異論があり、施設によって方針が異なります。

①肌の上から聴診をするメリットは？

服の上からの場合、服が擦れる音と心臓の雑音が混ざり合うことがあります。正確な聴取には肌の上からするべきとされています。

(心雑音によって発見される心疾患は、心電図では異常が指摘されないことがあります、聴診だけでしかわからないこともあります。)

②肌の上から聴診するデメリットは？

・女性の場合は、胸を出さなくていいように、服の下に聴診器をいれて聞いていました。しかし、狭く見えないスペースに手を入れるので、肌に手が当たってしまう、胸に触れてしまうなどの問題があります。

・皮膚に直接聴診器をあてることで、聴診器が感染の媒体になる危険性があります。そのため、一人一人聴診器をアルコール消毒しております。

以上の観点より全職員で検討した結果、直接肌にあてて聴診することを当施設の方針といたしました。どうぞよろしくご了承いただけますようお願い申し上げます。

なお、**直接肌に聴診器をあてることを希望されない方は、事前にお申し出ください。**

宮崎市郡医師会病院健診センター所長 尾上耕治